

平成27年度 施策評価表

	課・グループ名	住民課環境交通グループ
--	---------	-------------

作成年月日：平成28年9月1日

施策名	①ごみ処理体制の充実 5-2-①		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり	(2) 資源循環型のライフスタイルを育む環境づくり	①ごみ処理体制の充実
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●不法投棄防止対策の強化に努めるとともに、ごみの減量化、ごみの分別等を徹底するため、南幌町環境衛生組合の活動支援を図り、3R活動の取り組みを進めていきます。 ・Reduce (リデュース) ~ごみを減らそう ・Reuse (リユース) ~繰り返し使おう ・Recycle (リサイクル) ~資源として再利用しよう ●共同焼却施設の早期建設に向け、道央廃棄物処理組合(一部事務組合)で協議を重ねていきます。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ●南幌町、由仁町、長沼町で一部事務組合(南空知公衆衛生組合)を組織し、ごみ(一般廃棄物9種類)の分別収集と処理が行われています。 ●各行政区、町内会の協力を得ながら南幌町環境衛生組合と連携を図り、地域の環境美化整備、資源ごみの分別などの啓発活動を展開しています。 ●道央地域ごみ処理広域化推進協議会へ千歳市が平成24年5月より参画し枠組みが拡大され、平成25年4月1日より推進協議会事務局が発足し、平成26年2月に道央廃棄物処理組合(一部事務組合)が設立され、共同焼却施設の早期整備に向けて準備を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ごみの減量化、適切な分別処理によるリサイクルの推進の普及及び啓発をごみ排出ルール遵守とともに町民一人ひとりに一層理解を深めてもらう必要があります。 ●道央地域ごみ処理広域化推進協議会は平成26年2月に道央廃棄物処理組合(一部事務組合)が設立されたことにより業務を着実に進め、新焼却処理施設の平成36年度稼働に向けて、施設建設予定地の選定、ごみ処理広域化基本計画、施設整備計画の策定を進める必要があります。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化	
	3R(リデュース、リユース、リサイクル)活動が推進されることにより、ごみの減量化、ごみの適正な分別が図られるため、ごみ収集量を目標指数として設定しています。		成果指標 (総合計画・施策評価)			○ 可 能	
			ごみの収集量			不可能	
			代替指標 ※成果指標がない場合			未計測	
						指標の設定	
					可 能		
						不 可 能	
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H24	H25	H26	H27	H28	
目 標	t	1,930以下	1867以下	1,867以下	1,867以下(減量)	1,867	
実 績	t	1,867	1,882	1,820	1,903		
達成率	%	103.4	99.2	102.6	98.1		
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移(目標達成は十分に可能である)			施策の達成度	今後も、ごみ排出量の減少に向け、3R活動の推進を図る。	
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移(目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)			B		
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている(目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】 事務事業の種類	【必要性】 事務事業の必要性	【妥当性】 町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施設)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	実績					H27実績	H28予算	
						単位							
1	ごみ処理対策事業	(1)	住民課	町から排出されるごみ収集量(昨年度との比較)	1,867	t	・町民の協力を得て、ごみの分別収集、処理を行っている一部事務組合(南空知公衆衛生組合)と連携を組み、ごみの減量化、適切な分別処理によるリサイクルの推進・普及啓発を行う。 ・南幌町環境衛生組合と連携を図り、各行政区及び町内会の協力を得ながら資源ごみの分別、全町ごみ拾い等の啓発活動を行う。 ・不法投棄された処理困難物処理を行うとともに、啓発看板等の設置をし、環境美化への推進を行う。	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	219	高い	
					1,903	t					758		
2	道央廃棄物処理組合負担事業	(1)	住民課				「ごみ広域処理施設整備基本方針」に基づき、道央地域ごみ処理広域化推進協議会で協議を行い、ごみの処理体制及び施設整備の検討を行っている。	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	1,602	高い	
											1,906		
3													

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H27事業費	1,821
H28予算	2,664

②H28に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1					

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	町民が快適に暮らせるよう生活環境を充実するために、ごみ処理対策は重要であることから、南幌町環境衛生組合と連携を図り、循環型社会(3R)の推進、ごみの減量化、ごみの分別の徹底及び不法投棄の啓発を行政区・町民へ理解を得られるよう、推進して行きます。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	A	

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号				平成29年度以降の予算の方向性
			A				
			B				
			C	1	2		
			D				
						拡大	
						○ 維持	
						縮小	